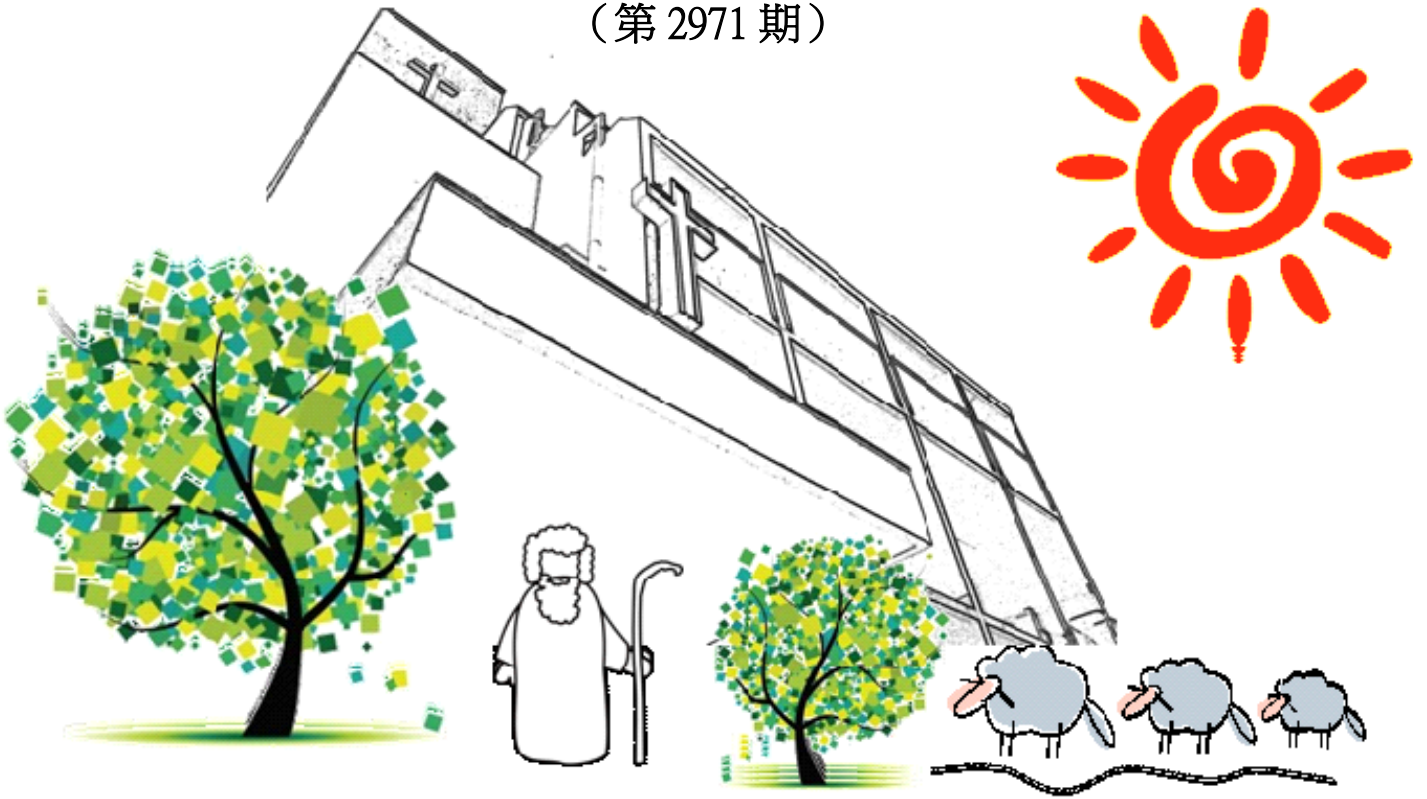




長大成人，進到完全
(以弗所書 4:13)

週報

2022年3月20日
(第2971期)



宗教法人：東京中華基督教會
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 5-13-4
電話：(03)3312-1837 (教会)
<http://church.ne.jp/chinese>

「你們不可停止聚會、好像那些停止慣了的人、倒要彼此勸勉、既知道那日子臨近、就更當如此。」 (希伯來書 10 章 25 節)

主日崇拜

讚美		会眾
讚美	和散那聖歌 第 79 首 「わがめをひらきて／開我的眼」	会眾
禱告		司会
朗讀	使徒信經	会眾
証道	誰能觸摸我的傷痛, 太 8:1-3, 可 1:40-42, 路 5:12-13 誰か私の傷を触れてください, マタイ 8:1-3, マルコ 1:40-42, ルカ 5:12-13	講員：劉崎瑋伝道 翻譯：楊建榮
讚美	和散那聖歌 第 100 首 「みことばなる／信而順服」	会眾
奉獻	和散那聖歌 第 19 首 「十字架のかげに／依傍十架」	会眾
禱告		遠藤明
阿們	和散那聖歌 第 1 首 「あめつちこそりて／讚美真神」	会眾
報告介紹		崎尾有佳子, 山中智梅

【教會週間定期聚會】

主日崇拜：每主日 10:30 - 12:00

聖餐式：每月第 2 主日

晨禱會：每主日 9:30 - 10:15

晚禱會：每週二 20:00 - 20:30

午後學習會：每主日 12:30 - 14:00

日英文查經：每週三 19:00 - 20:30

(表參道)

中文查經：每週五 19:50 - 21:00

(Zoom ID: 663 697 9476)

【教會本年度的目標】

〔P60・15・7 2022〕

- ①主日崇拜參加者 60 人以上
- ②禱告會參加者 15 人以上
- ③養成每日讀經習慣

【本月背誦聖經章節】

溫柔的人有福了！因為他們必承受地土。(馬太福音 5:3-5)

柔和な者は幸いです。その人は地を相続するからです。(マタイ 5:3-5)

【本週閱讀聖經章節】

3/21, 出埃及記 14:21-31

3/22, 出埃及記 15:1-18

3/23, 出埃及記 15:19-27

3/24, 出埃及記 16:1-12

3/25, 出埃及記 16:13-30

3/26, 出埃及記 16:31-17:7

3/27, 出埃及記 17:8-16

【証道提要】

誰能觸摸我的傷痛

太 8:1-3, 可 1:40-42, 路 5:12-13

誰か私の傷を触れてください

マタイ 8:1-3, マルコ 1:40-42, ルカ 5:12-13

前言

只要是人，就無法避免苦難和傷痛在我們的生命中。不但如此，我們真的不容易可以找到完全接納我們和理解我們的人。所以，許多人處在絕望與痛苦當中的時候，在今天的社會有不少人最後選擇自殺之極端的方式來對抗內心的痛苦與掙扎。但是今天有個大好的消息是，主耶穌祂可以，同時祂也願意觸摸你心中最深的傷痛。

一、絕望中的傷痛-大麻瘋(馬太 8:1-2)

在聖經的時代中，只要是患了大麻瘋，就等於被判了死刑一樣。因為除了無法過正常的生活之外，也無法與家人或是人群在一起，必須被隔離在外面。因為，大家都視大麻瘋為不潔的與汗穢的。生活只能倚賴別人的施捨(乞丐)，但沒有人會願意靠近他們。更何況這人是全身都長滿了大麻瘋，我們可以想像他是過著一個非常可憐的生活。而他聽到了耶穌的事情，就期盼耶穌可以醫治他可憐疾病，因為他活的非常痛苦。當耶穌出現在他附近時，他就跑過去跪在耶穌面前，央求耶穌可以潔淨他的癩瘋病。

二、傷痛中的盼望-耶穌(馬可 1:41-42)

這個沒有人想要靠近的大麻瘋人，沒想到耶穌不但聽了他的要求，潔淨了他的大麻瘋之外，也伸手去觸摸了他。用手觸摸大麻瘋在當時來說是一個禁忌，除了自己會被感染之外，更重要的是自己會成了不潔的。所以，主耶穌的舉動是非常令人不解的。但是經文告訴我們說，主耶穌看見他，就動了慈心。因此，我們可以理解主耶穌沒有拒絕他反而還伸手觸摸了他，是全然因為愛的緣故。因為耶穌知道這人的絕望和傷痛是甚麼。最後他不但得到了醫治，也恢復了正常人的生活。

三、結語

所以，我們應該要主動尋求耶穌的幫助，因為只有祂能潔淨並觸摸我們的身和心，讓我們在 deepest 的傷痛當中，得到安慰和醫治。除此之外，今天我們有更大的恩典，就是主已經打破了自己的身體，承擔了我們一切該承擔的傷痛，也流出了一切我們該流出的血。因此，再也沒有任何的痛苦可以勝過我們。誰能觸摸你的傷痛呢？不要忘記，那是耶穌。

前書き

人間である限り、人生において苦しみや痛みを避けることはできない。それだけでなく、私たちを受け入れ、完全に理解してくれる人を見つけるのは、本当に簡単なことではありません。多くの人が絶望と苦痛の中にいて、現代社会では多くの人が内面の苦痛や葛藤と戦うために究極の自殺に至っています。しかし、今日の素晴らしいニュースは、主イエスがあなたの心の深い傷に触れることができます。

一、絶望的な傷痛み—らい病人(マタイ 8:1-2)

聖書の時代には、らい病は死の宣告を受けていた。普通の生活ができないことに加え、家族や人と一緒にいることができず、孤立せざるを得なかったのです。らい病は、誰からも汚れたものと思われていました。他人の施しで生きていかなければならないので、乞食でした。この人はらい病に覆われていて、とても貧しい生活をしてきたことが想像できます。イエスのことを聞いた彼は、自分がとてもみじめな生活をしているので、そのみじめな病気がいやされるようにと願ったのです。イエスが近くに現れたとき、彼は走って行ってイエスの前にひざまずき、自分のらい病を清めてくれるようイエスに懇願した。

二、傷痛み時の希望(マルコ 1:41-42)

誰も近づこうとしなかったこのらい病人は、イエスが彼の願いを聞き入れ、彼のらい病を清めるだけでなく、手を伸ばして彼に触れてくれるとは思ってもよらなかったのです。当時、らい病に手で触れることはタブーであり、感染するだけでなく、何より汚れてしまう。したがって、イエスの行動は非常に不可解であった。しかし、聖書には、主イエスが彼を見て、憐れみの心を起こされたことが記されている。ですから、イエス様は彼を拒絶したのではなく、愛ゆえに手を伸ばして触れられたのだと理解できます。イエスはこの人の絶望と悲しみを知っておられたからです。結果、彼は病気が治っただけでなく、普通の生活を取り戻したのです。

三、まとめ

ですから、私たちは積極的にイエスの助けを求めべきです。イエスだけが私たちの体と心を清め、触れることができ、深い悲しみの中にある私たちに慰めと癒しをもたらしてくれるからです。これに加えて、主がご自分の体を壊して、私たちが負うべきすべての痛みを負い、流すべきすべての血を流して下さったという点で、今日の私たちはさらに大きな恵みを受けているのです。だから、もうどんな痛みにも負けない。誰があなたの痛みに触れることができますか？それがイエスであることを忘れてはならない。